定期的な点検

⚠注意

必ず実行

定期的に、ガタツキがないか確認する
破損や脱落により、けがの原因になります。

定期的に点検口や甲板を外し配管まわりを見て、水漏れがないかを確認する
部品の劣化や磨耗などによる漏水が発見できず、家財などをぬらす原因になります。

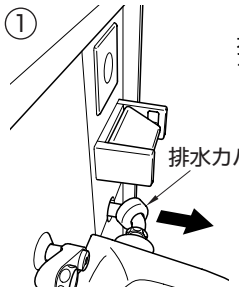
前板を取外すときは、必ず手袋などを着用する
けがの原因になります。

点検口の取り外し方

◎フラッシュバルブ用点検口

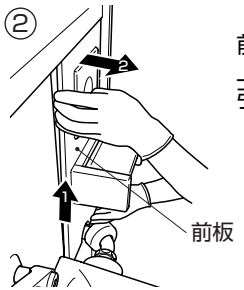
※本説明書ではLタイプについて図示しております。
Rタイプの場合、左右逆になりますが、手順はLタイプと同じです。

①



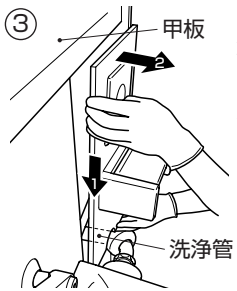
排水カバーを手前にずらします。

②



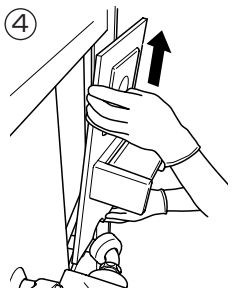
前板を一旦上に持ち上げ、全体を手前に引きます。

③



洗浄管にぶつかるまで下に降ろしてから、前板の上部を手前に引き、甲板の下から出します。

④



前板を上に引き上げ、取り外します。

◎電気温水器用点検口

①

前板を、洗浄管にぶつかるまで上に持ち上げます。

②

全体を手前に引いてから、下に降ろします。

③

洗浄管カバーの下からくぐらせるようにして、前板を取り外します。

◎電気温水器前カバー、上カバー　※電気温水器に同梱の取扱説明書もあわせてご参照ください。

フラッシュバルブ用、電気温水器用前板を取り外します。

前カバー下の化粧ねじを取り外します。

前カバーを引き出します。

手前に引き出して、取り外します。

上カバーを取り外します。

※取り付けの際は、この逆の順序で取り付けます。

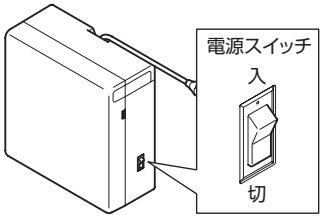
電気温水器の操作

※電気温水器の定期点検については、電気温水器に同梱されている取扱説明書に従ってください。ここでは点検を行う際の、トイレパックにおいて特に注意する点や操作方法を説明します。

- 点検口（上下）を取り外します。
  ※点検口の取り外しかたは10～11ページをご参照ください。

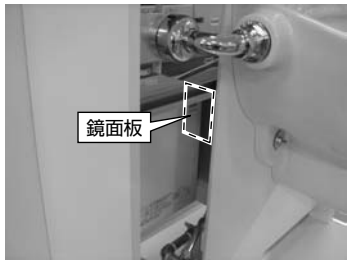
◎ 電源（運転）スイッチの操作方法

電源（運転）スイッチは、電気温水器本体の右側にあります。
ヒーター通電中のみランプが点灯します。



Rタイプのとき

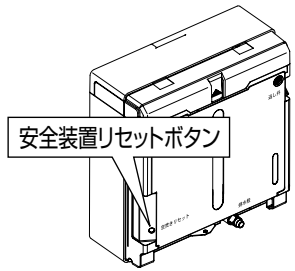
電源スイッチが前板に隠れるため、正面から見えません。
電気温水器支持材の鏡面板を使用し、スイッチの入、切状態を確認しながら操作してください。



◎安全装置リセットボタンの操作

安全装置リセットボタンは、電気温水器本体の左側（カバーを外した状態）にあります。

※安全装置リセットボタンをつかうときや操作方法については、電気温水器に同梱の取扱説明書をご参照ください。



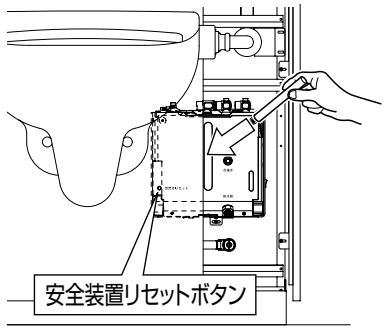
Lタイプのとき

長さ5～8センチ程度、径は鉛筆程度の棒を使用し、点検口より前板裏側に手を入れて操作してください。

Rタイプのとき

長さ5～8センチ程度、径は鉛筆程度の棒を使用し、点検口より操作してください。

Lタイプのときの
安全装置リセットボタンの位置



配管周りの水漏れ有無の確認（年2回）

オストメイト対応トイレパックの点検口を外し、ライニング内にある配管・電気温水器周りの水漏れがないか、点検してください。

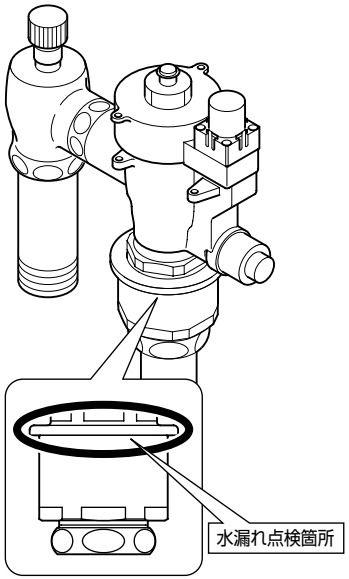
劣化・磨耗などで部品が破損し、けがをしたり、水漏れして設備などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め（6ページ参照）お求めの取付店、販売店又はTOTOメンテナンス（株）へ修理をご依頼ください。

バキュームブレーカー部の点検（年2回）

①バキュームブレーカーの周囲を確認して、水漏れ跡がないかを確認する。

②2～3度押ボタンを作動して水を流し、水漏れしないかを確認する。



①、②で、水漏れ跡や水漏れが確認されたときは、お求めの取付店・販売店、またはTOTOメンテナンス（株）へ修理をご依頼ください。
なお、お客様がご自分でお取り替えの際は、取り替え用バキュームブレーカー（22ページ）をお買い求めのうえ、お取り替えください。

定期的な部品交換のお願い

●安全・快適にご使用いただくために、以下について定期的に部品の交換が必要です。

バキュームブレーカーの交換

バキュームブレーカーが正常に機能しないと、状況によっては、水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

※バキュームブレーカーの交換は、お求めの取付店・販売店、またはTOTOメンテナンス（株）へ依頼してください。
TOTOメンテナンス（株）にご依頼の場合、修理料金は**技術料**＋**部品代**＋**出張料**がかかります。